

防災ゲーム「クロスロード」とは

クロスロードは、阪神・淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに、実際に震災で問題となったさまざまな「災害対応のジレンマ」の事例などをカードゲーム化したもの。矢守克也氏（京都大学防災研究所教授）、吉川肇子氏（慶應義塾大学教授）、網代剛氏（ゲームデザイナー）によって開発されました。

どんなによく考えられた災害対応マニュアルが用意されても、実際に被災すればマニュアル通りにいかないことだらけ。

クロスロードは、難しい決断に迫られる災害対応を模擬体験することで防災力を高めるためのゲーム。正解がなく、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなくてはならないようなジレンマに対して、YESかNoのいずれかで決断していきます。

問いに答えて終わりではありません。「なぜその判断をしたのか」「ほかに方法はないのか」「おさえるべきポイントはどこなのか」等々、お互いに聞き合い確かめ合います。また「似たような経験をした」「自分もこんなとき判断に迷った」…そういえば自分にも…と記憶を振り返ることもできます。



NHK 教育テレビでも教材として使用されました

NHK 教育テレビの番組「学ぼう BOSAI」「シンサイミライ学校」のなかで教材として取り上げられています。学校の防災教育の題材として、また組織や地域の集まりでの取り組みにも使えるゲームです。

「調布版」の事例も盛り込みます

調布を想定した事例や、特別支援学校、障害のある方の事例など、本講座ならではの事例を用意します。より身近な課題を考える時間もあります。

そのほか多彩な防災教育アイテムを展示予定

クロスロード以外にも様々な防災教育用のアイテムが開発されています。会場に展示予定ですのぜひご覧ください。

クロスロード関係 HP
Web CROSSROAD
(クロスロードに関するニュースや新聞などが読めます)
<http://maechan.net/crossroad/#>

